

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人 杏林学園
理事長 松田博

杏林大学医学部付属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第(昭和23年法律第205号)12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に
関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	413人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業員の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	304人	304人	540.1人	看護業務補助	17人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	2人	1人	2.0人	理学療法士	14人	臨床検査技師	94人
薬剤師	43人	0人	43.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	12人	検査その他	0人
助産師	98人	1人	98.1人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,265人	7人	1,269.2人	臨床工学技士	24人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	3人	0人	3.0人	栄養士	0人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	0人	0人	0.0人	歯科技工士	0人	事務職員	89人
管理栄養士	6人	3人	8.6人	診療放射線技師	56人	その他の職員	7人

- (注) 1 報告を行う当該年度10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	847人	0人	847人
1日当たり平均外来患者数	2,111人	20人	2,131人
1日当たり平均調剤数	1,818剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間実外来診療日で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板に係るものに限る。)	9人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1)「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	抗神経抗体測定	取扱患者数	384人
当該医療技術の概要 血清中の各種抗神経抗体を測定し、免疫性神経疾患の迅速な診断と治療効果の判定を行う。			
医療技術名	乳癌に対するセンチネルリンパ節生検	取扱患者数	105人
当該医療技術の概要 色素法を用いてセンチネルリンパ節を同定した。			
医療技術名	悪性脳腫瘍の化学療法における薬剤耐性関連遺伝子解析	取扱患者数	約80人
当該医療技術の概要 手術中に得られた組織からPCR法などを用いて薬剤耐性関連遺伝子を解析し、腫瘍に対する抗ガス剤の感受性を知ることができる。これに基づいて抗ガス剤を使用することにより、より高い効果を得て、副作用を避けることができる。			
医療技術名	脳腫瘍手術における5アミノレブリン酸とナビゲーションシステム	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 悪性脳腫瘍の初期治療においては手術が最も一般的であるが、その分の生命予後に対しては98%以上の摘出が求められる。一般に同手術は境界不明瞭で手術の難易度は高いとされるが5ALAとナビゲーションシステムを使用することにより摘出率を高めることができる。ナビゲーション年間30件 5ALA(5アミノレブリン酸)約80件			
医療技術名	大動脈瘤ステントグラフト移植術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 ハイリスクの胸部または腹部大動脈瘤症例に対し、カテーテル法により動脈内にステントグラフトを留置し、瘤破裂の予防を行う。			
医療技術名	胸部大動脈瘤手術時オープンステント	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 下行大動脈に及ぶ弓部大動脈瘤置換術において、術野用ステントグラフトを末梢側に挿入し、深部での末梢吻合を省略して、侵襲の軽減を行う。			
医療技術名	赤外線使用による術中心房細動治療	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 心房細動を伴う心臓手術において、赤外線照射により、エントリーを遮断し、心房細動を治療する。			
医療技術名	人工血管を使用した血液透析用内シャント	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 血液透析用シャントは患者の静脈の性状に左右される。適切な静脈がない場合でも最近開発された人工血管を使用することにより、血液透析が円滑に施行されるようになった。			
医療技術名	キセノンレーザー治療	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 EXCEL-Xe(株式会社日本医店)を用い、キセノン光を患部や交感神経節の表在部に照射。血流改善、生体組織の活性化、筋・関節拘縮の改善を促す。			
医療技術名	スーパーライザー	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 近赤外線を高出力でスポット状に照射。 血流改善、組織活性化、筋・関節拘縮の改善を促す。			
医療技術名	トリガープロ	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 直流不変電流を経皮的に患部に通電する。 筋スパズムや疼痛症に対して使用。疼痛部位や神経の表在部に通電。			

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	トリガーポイント注射	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 局所麻酔薬や鎮痛薬をトリガーポイント(鎮痛部位)に注射する。			
医療技術名	仙骨硬膜外ブロック	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 仙骨裂孔より針を挿入し、硬膜外腔に局所麻酔薬を投与する。 腹痛や下肢痛に行う。			
医療技術名	点滴治療	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 経静脈的に麻薬、消炎鎮痛薬を投与し、薬剤の効果、経口投与での至適量を見極める。			
医療技術名	ハドマー(リンパ浮腫治療)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 リンパ浮腫の治療に用いる。ハドマー(医療機器)を用い、下肢静脈血行促進による血液のうっ滞や浮腫の軽減、静脈血栓予防を行う。			
医療技術名	navigation併用人工膝関節置換術	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要 正確な人工関節の設置を目的として人工膝関節置換術にnavigationを併用する手術を導入している			
医療技術名	肩関節鏡視下手術	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 反復性肩関節脱臼に対する鏡視下バンカート修復術及び肩腱板損傷に対する鏡視下手術			
医療技術名	四肢悪性腫瘍に対する患肢温存手術	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要 本来切断術の適応となることが多かった悪性四肢骨軟部腫瘍に対し化学療法を併用し四肢切断することなく腫瘍切除を行い四肢温存をはかる術式			
医療技術名	CTガイド下類骨骨種切除	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 CTガイドを用いる事で以前は大きな侵襲出会った手術が低侵襲に骨腫瘍を切除することが可能である			
医療技術名	内視鏡視下ヘルニア摘出術	取扱患者数	54人
当該医療技術の概要 内視鏡下手術により低侵襲な手術が可能であり術後創痛もすくなく入院期間も短縮し医療効率も良好である			
医療技術名	内視鏡視下椎弓切除術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 内視鏡下手術により低侵襲な手術が可能であり術後創痛もすくなく入院期間も短縮し医療効率も良好である			
医療技術名	navigationを用いた頸椎後方固定術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 頸椎に対してinstrumentation手術は血管、神経合併症も高くより精密は刺入が必要である。Navigationを用いる事で正確にスクリューの刺入が可能となりより安全な術式である			
医療技術名	HEK2 FISH 解析	取扱患者数	25人

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

当該医療技術の概要 乳がん等のHER2 FISH解析(病理組織標本を用いて)			
医療技術名	病理組織標本からのDNA解析	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 病理組織パラフィン標本からマイロダイセクションにて病変を単離し、EGF-R等の遺伝子解析			
医療技術名	ANCA対応抗原の同定	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 MPO,PR-3以外のANCAの対応抗原の同定			
医療技術名	ガンマグロブリン大量静注療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 血管炎による末梢神経障害に対し、ガンマグロブリンを大量に静注する。			
医療技術名	光線力学療法	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 表在性皮膚癌及び難治性皮膚疾患に対し5-アミノレブリン酸(光感受性物質)を用いた外用光線力学療法を施行。この1年では日光角化症、ボーエン病、有棘細胞癌、サルコイドーシス、強皮症に施行し良好な結果を得ている。			
医療技術名	イミキモド外用療法	取扱患者数	39人
当該医療技術の概要 表在性皮膚癌及び難治性疣贅に対し免疫賦活剤としてイミキモドを隔日もしくは連日外用。この1年では日光角化症、ボーエン病、有棘細胞癌、基底細胞癌、パジェット病に施行し良好な結果を得ている。			
医療技術名	膠原病に対する大量免疫グロブリン療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 既存の治療法に抵抗する膠原病患者に対し病状進行の抑制、改善を期待して大量の免疫グロブリンを投与する。これまで皮膚筋炎、全身性強皮症の患者で効果が認められている。			
医療技術名	発汗試験	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹などを中心に各種皮膚疾患における発汗障害を定量的に調べ、その結果を治療に反映させている。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	74人	・膿疱性乾癬	5人
・多発性硬化症	33人	・広範脊柱管狭窄症	人
・重症筋無力症	36人	・原発性胆汁性肝硬変	104人
・全身性エリテマトーデス	374人	・重症急性膵炎	8人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	7人
・再生不良性貧血	34人	・混合性結合組織病	63人
・サルコイドーシス	71人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	2人	・特発性間質性肺炎	4人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	150人	・網膜色素変性症	95人
・特発性血小板減少性紫斑病	93人	・プリオン病	人
・結節性動脈周囲炎	2人	・肺動脈性肺高血圧症	61人
・潰瘍性大腸炎	196人	・神経線維腫症	5人
・大動脈炎症候群	19人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・ビュルガー病	2人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・天疱瘡	53人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	人
・脊髄小脳変性症	35人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	65人	・副腎白質ジストロフィー	人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	31人
・悪性関節リウマチ	4人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	268人	・球脊髄性筋萎縮症	人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5人
・後縦靭帯骨化症	人	・肥大型心筋症	27人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	26人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	23人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	5人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	人	・黄色靭帯骨化症	人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	46人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・悪性黒色腫、又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	概ね1週間に2回 概ね1か月に9回
部 検 の 状 況	部検症例数 64例 / 部検率 5.60%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
マイコプラズマ肺炎のマウスモデルの解析と治療への応用	後藤 元 主任	内科学 I	千円 1,500	(補) 日本学術振興会 科学研究費補助金 委
肺胞蛋白症の難治化要因の解明と診断、治療、管理の標準化と指針の確立	石井 晴之 分担	内科学 I	千円 1,000	(補) 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金 委
中小型血管炎に関する研究	有村 義宏 分担	内科学 I	千円 2,780	(補) 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金 委
心室細動の発現メカニズムの解明:新しい心臓突然死予知法の確立に向けて	池田 隆徳 主任	内科学 II	千円 900	(補) 日本学術振興会 科学研究費補助金 委
バーチャル心臓を用いた不整脈危険予測のための機能的リモデリング手法の開発	池田 隆徳 分担	内科学 II	千円 200	(補) 日本学術振興会 科学研究費補助金 委
プロスタグランジン-12合成酵素遺伝子を用いた肺動脈性肺高血圧症に対する新規治療法の開発	佐藤 徹 分担	内科学 II	千円 1,000	(補) 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金 委
原発性肺高血圧症の成因及び肺血管リモデリングに関する研究	佐藤 徹 分担	内科学 II	千円 1,100	補 厚生労働省 循環器病研究 委託事業 (委)
2型糖尿病のインスリン分泌不全に対する酸化ストレスとマクロファージの関与の解明	石田 均 主任	内科学 III	千円 700	(補) 日本学術振興会 科学研究費補助金 委
消化器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	古瀬 純司 分担	内科学 (腫瘍科)	千円 5,000	(補) 厚生労働省 がん研究助成金 委
抗悪性腫瘍薬による肝炎ウイルス再活性化の調査とその対応に関する研究	古瀬 純司 分担	内科学 (腫瘍科)	千円 1,500	(補) 厚生労働省 がん研究助成金 委
胎児性抗原を利用した肝がんの超早期診断法と発症予防ワクチンの開発	古瀬 純司 分担	内科学 (腫瘍科)	千円 1,000	(補) 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金 委
肝がんの新規治療に関する研究	古瀬 純司 分担	内科学 (腫瘍科)	千円 2,000	(補) 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金 委
運動器の不安定性に関与する姿勢と中枢制御機能に着目した転倒予防ガイドライン策定研究	鳥羽 研二 主任	高齢医学	千円 29,200	(補) 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金 委
認知症の包括的ケア提供体制の確立に関する研究	鳥羽 研二 分担	高齢医学	千円 1,800	(補) 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金 委
運動器の不安定性に関与する姿勢と中枢制御機能に着目した転倒予防ガイドライン策定研究	神崎 恒一 分担	高齢医学	千円 1,500	(補) 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金 委

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
老年疾患コホート研究を含む高齢者医療(医療技術、チーム医療等を含む)の標準化、治療データベース構築等に関する研究	神崎 恒一 分担	高齢医学	千円 2,000	補 委 厚生労働省 長寿医療研究 委託事業
老年医学的総合機能評価(CGA:comprehensive geriatric assessment)の研究開発及びCGA活用による地域連携の推進のための高齢者医療連携システムの開発	神崎 恒一 分担	高齢医学	千円 1,500	補 委 厚生労働省 長寿医療研究 委託事業
認知症の易転倒性に関する、骨・筋・運動機能及び脳画像の縦断解析研究	鳥羽 研二 主任	高齢医学	千円 1,300	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
アミノ酸トランスポーターを標的とする血管障害に対する新規治療戦略	神崎 恒一 主任	高齢医学	千円 900	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
除可能膵胆道領域がんに対する補助療法の研究	杉山 政則 分担	外科学	千円 500	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
NOTES (natural orifice transluminal endoscopic surgery)とSILS (single-incision laparoscopic surgery)の橋渡しとしての軟性内視鏡を用いたsingle-incision multiport laparoendoscopic surgery (SIMPLE surgery)の開発	阿部 展次 分担	外科学	千円 300	補 委 NOTES研究会
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の標準的治療法確立に関する研究	正木 忠彦 分担	外科学	千円 1,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
再発高危険群の大腸がんに対する術後補助療法の確立に関する研究	正木 忠彦 分担	外科学	千円 800	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の構築と運用	呉屋 朝幸 分担	外科学	千円 1,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
難治がんの対策推進のための総合的研究	興石 義彦 分担	外科学	千円 1,200	補 委 厚生労働省 がん研究助成金
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	井本 滋 分担	外科学	千円 3,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
心肺蘇生中の心電図解析に基づく抽出波形の早期認知システムの開発	山口 芳裕 主任	救急医学	千円 780	補 委 消防防災科学技術 推進制度
わが国における脳卒中再発予防のための急性期内科治療戦略の確立に関する研究	塩川 芳昭 分担	脳神経外科学	千円 1,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
未破裂脳動脈瘤の治療の評価技術の開発に関する研究	塩川 芳昭 分担	脳神経外科学	千円 1,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
未破裂脳動脈瘤の治療指針と個別意思決定に関する研究	塩川 芳昭 分担	脳神経外科学	千円 1,500	補 委 厚生労働省 循環器病研究 委託事業

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
重症脳卒中における生命倫理に関する研究	塩川 芳昭 分担	脳神経外科学	千円 800	補 委 厚生労働省 循環器病研究 委託事業
脳神経外科病歴データベースの構築	塩川 芳昭 分担	脳神経外科学	千円 2,000	補 委 日本脳神経財団 特別研究助成
悪性神経腫瘍に対する複合的シグナル阻害剤による新規治療法の開発	永根 基雄 主任	脳神経外科学	千円 1,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
悪性脳腫瘍幹細胞における薬剤耐性機構の解明と治療への応用	小林 啓一 主任	脳神経外科学	千円 1,500	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
生脳腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究	永根 基雄 分担	脳神経外科学	千円 500	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
希少悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	永根 基雄 分担	脳神経外科学	千円 1,100	補 委 厚生労働省 がん研究助成金
Radiosurgeryが脳血管内皮細胞および脳循環に与える影響に関する研究	栗田 浩樹 主任	脳神経外科学	千円 900	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脳白室線維画像の統合による機能的脳治療システムの開発	丸山 啓介 主任	脳神経外科学	千円 1,400	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性疾患克服研究事業脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	里見 和彦 分担	整形外科	千円 1,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	望月 一男 分担	整形外科	千円 350	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
骨粗鬆症椎体骨折に対する低侵襲治療法の開発	市村 正一 分担	整形外科	千円 2,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
エフェクターT細胞と制御性T細胞の皮膚への遊送を調節する因子の解析	塩原 哲夫 主任	皮膚科学	千円 8,900	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	塩原 哲夫 分担	皮膚科学	千円 2,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
重症多形滲出性紅斑の生体試料収集・保管管理システムの確立	塩原 哲夫 主任	皮膚科学	千円 5,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
IgEの生理学的役割の解析	水川 良子 主任	皮膚科学	千円 1,300	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
生存率とQOLの向上を目指したがん切除後の形成再建手技の標準化	多久嶋 亮彦 分担	形成外科学	千円 1,300	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
がん外科治療における形成再建外科標準術式の確立に関する研究	多久嶋 亮彦 分担	形成外科学	千円 1,450	補 委 厚生労働省科 がん研究助成金
微小循環可視化モデルを用いた褥瘡発生機序の解明	大浦 紀彦 主任	形成外科学	千円 1,100	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
下顎関節突起骨折におけるボツリヌス菌の毒素の利用	尾崎 峰 主任	形成外科学	千円 800	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
regenerative flap開発	木下 幹雄 主任	形成外科学	千円 900	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
血管柄分枝部の構造が穿通枝皮弁の血行に与える影響についての研究	佐藤 英 主任	形成外科学	千円 400	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
伸展刺激がヒト間葉系幹細胞に及ぼす影響	栗田 昌和 主任	形成外科学	千円 7,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
炎症後色素沈着の機序の解明と低癒痕創傷治癒に関する基盤的研究	栗田 昌和 分担	形成外科学	千円 2,100	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
末梢神経静脈吻合による、神経再生と骨格筋の再支配に関する研究	白石 知大 主任	形成外科学	千円 700	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
難治性疾患克服研究事業「進行性腎障害に関する調査研究」	奴田原紀久雄 分担	泌尿器科学	千円 1,600	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
視覚情報伝達過程におけるRGS蛋白群の解析	稲見 達也 主任	眼科学	千円 1,100	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
脈絡膜上経網膜電気刺激(STS)法による人工視覚システムの臨床応用	平形 明人 分担	眼科学	千円 2,000	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
センチネルリンパ節理論による頭頸部癌微小転移の解明と個別的治疗法の開発	甲能 直幸 分担	耳鼻咽喉科	千円 1,100	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
輸血副作用把握体制の確立 -特に免疫学的副作用の実態把握とその対応-	飯島 毅彦 分担	麻酔科学	千円 650	補 委 厚生労働省 厚生労働科学研究費 補助金
小児リハビリテーション医療のための評価法の確立	高橋 秀寿 主任	リハビリテーション 医学	千円 6,000	補 委 厚生労働省 成育医療研究 委託事業

計 60

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The FASEB Journal 平成21年9月発表	A protein deacetylase SIRT1 is a negative regulator of metalloproteinase-9.	和田 裕雄	内科学 I
Ann Intern Med 150 平成21年4月発表	Isolation of Mycobacterium kyorinense in a patient with respiratory failure.	和田 裕雄	内科学 I
Intern Med 48(12) 平成21年6月発表	Superior mesenteric artery syndrome caused by huge mycotic abdominal aortic aneurysm.	皿谷 健	内科学 I
J Infect Chemother 15 平成21年6月発表	Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the Japanese Society of Chemotherapy in 2007: general view of the pathogens' antibacterial susceptibility.	後藤 元	内科学 I
J Infect Chemother 15 平成21年12月発表	Antimicrobial susceptibility of pathogens isolated from more than 10000 patients with infectious respiratory diseases: a 25-year longitudinal study.	後藤 元	内科学 I
Chest 136 平成21年11月発表	Comparative study of high-resolution CT findings between autoimmune and secondary pulmonary alveolar proteinosis.	石井 晴之	内科学 I
Intern Med 49(4) 平成22年2月発表	Comparison of clinical and radiological features of Pneumocystis pneumonia between malignancy cases and acquired immunodeficiency syndrome cases: A multicenter study.	後藤 元	内科学 I
日本腎臓学会誌 平成21年6月発表	MPO-ANCA関連腎炎における糸球体内MPO陽性細胞および細胞外MPOについての腎病理組織学的検討	川嶋 聡子	内科学 I
日本透析医学会雑誌 平成21年6月発表	維持透析導入後も18年間MPO-ANCA高値が持続し、肺出血で再燃した顕微鏡的多発血管炎の1例	岩澤 彰子	内科学 I
MODERN RHEUMATOLOGY 平成21年8月発表	Classification of clinical subtypes, patient survival, kidney prognosis, and relapse in patients with MPO-ANCA-associated vasculitis: a single-center experience.	中林 公正	内科学 I
Clin Exp Nephrol. 平成21年12月発表	Tubulointerstitial nephritis without glomerular lesions in three patients with myeloperoxidase-ANCA-associated vasculitis.	中林 公正	内科学 I
Nephrol Dial Transplant 平成21年1月発表	Methylglyoxal induces peritoneal thickening by mesenchymal-like mesothelial cells in rats.	要 伸也	内科学 I
Circulation 平成21年10月発表	Mac-1 (CD11b/CD18) links inflammation and thrombosis after glomerular injury.	要 伸也	内科学 I
J Am Soc Nephrol 平成21年8月発表	siRNA-based therapy ameliorates glomerulonephritis.	要 伸也	内科学 I
Clin Exp Nephrol 平成21年12月発表	A nationwide survey of rapidly progressive glomerulonephritis in Japan: etiology, prognosis and treatment diversity. Japan RPGN Registry Group.	有村 義宏	内科学 I
Mod Rheumatol 平成21年8月発表	Classification of clinical subtypes, patient survival, kidney prognosis, and relapse in patients with MPO-ANCA-associated vasculitis: a single-center experience.	中林 公正	内科学 I
Clin Exp Nephrol 平成21年12月発表	Tubulointerstitial nephritis without glomerular lesions in three patients with myeloperoxidase-ANCA-associated vasculitis.	中林 公正	内科学 I
臨床神経学 平成21年7月発表	髄液をもちいてinterferon-gamma release assayを検討した結核性髄膜炎の1例	内堀 歩	内科学 I
新薬と臨床 平成21年7月発表	クロピドグレル服用110例の使用経験	西山 和利	内科学 I
日本神経救急学会誌 平成21年6月発表	ATT (advanced triage team) とSCU導入の1・2次救急診療への影響と、神経内科医の救急医療での役割についての検討	大石知 瑞子	内科学 I

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cardiovasc Electrophysiol 平成21年6月発表	Heart rate turbulence as a predictor of cardiac mortality and arrhythmic events in patients with dilated cardiomyopathy: A prospective study.	三輪 陽介	内科学Ⅱ
J Cardiol 平成21年8月発表	Quantitative assessment of cibenzoline treatment for vagally mediated paroxysmal atrial fibrillation using frequency-domain heart rate variability analysis.	宮越 睦	内科学Ⅱ
Circ J 平成21年10月発表	Effects of intravenous nifekalant as a lifesaving drug for severe ventricular tachyarrhythmias complicating acute coronary syndrome.	柚須 悟	内科学Ⅱ
リウマチ科 平成21年5月発表	NTproBNP 肺高血圧症の診療における測定の意義について	佐藤 徹	内科学Ⅱ
臨床医薬 平成21年7月発表	臨床試験のサロゲートマーカー 肺高血圧症のサロゲートマーカー	佐藤 徹	内科学Ⅱ
呼吸器科 平成21年8月発表	肺高血圧症の診察法と診断	佐藤 徹	内科学Ⅱ
Therapeutic Research 平成21年10月発表	肺高血圧症治療薬の併用療法について 肺高血圧症患者に対するイマチニズの使用経験	片岡 雅晴	内科学Ⅱ
Therapeutic Research 平成21年10月発表	肺高血圧症のNYHA分類と治療ストラテジー	佐藤 徹	内科学Ⅱ
Modern Physician 平成21年11月発表	循環器専門医が診る肺高血圧症ボセンタン内服加療が長期にわたって有効な肺高血圧症の1症例	片岡 雅晴	内科学Ⅱ
総合臨床 平成21年11月発表	肺高血圧症の診断基準・疫学	佐藤 徹	内科学Ⅱ
日本胸部臨床 平成21年12月発表	肺高血圧症の臨床症状と検査所見	佐藤 徹	内科学Ⅱ
Progress in Medicine 平成22年2月発表	膠原病性肺高血圧症に対するエボプロステノールの使用経験	片岡 雅晴	内科学Ⅱ
呼吸と循環 平成22年3月発表	PT-INR測定の新手法: CoaguChek XSの日本人における測定と信頼度	谷合 誠一	内科学Ⅱ
糖尿病 平成21年7月発表	インタクトプロインスリン-インスリン比の特徴と臨床的意義 (その1): 基準値の設定と耐糖能障害における膵β細胞機能との関係	石田 均	内科学Ⅲ
糖尿病 平成21年7月発表	インタクトプロインスリン-インスリン比の特徴と臨床的意義 (その2): 2型糖尿病患者における各種パラメータとの相関解析および経口血糖降下薬の影響	石田 均	内科学Ⅲ
日本栄養・食糧学会誌 平成22年10月発表	糖尿病性骨減少症の病態生理学的研究	石田 均	内科学Ⅲ
Cancer Chemother Pharmacol. 平成21年4月発表	A phase II study of uracil-tegafur plus doxorubicin and prognostic factors in patients with unresectable biliary tract cancer.	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
Ann. Oncol 平成21年5月発表	Fixed dosing and pharmacokinetics of S-1 in Japanese cancer patients with large body-surface areas.	長島 文夫	内科学 (腫瘍科)
Cancer Chemother. Pharmacol. 平成21年5月発表	Association of UGT2B7 and ABCB1 genotypes with morphine-induced adverse drug reactions in Japanese patients with cancer.	長島 文夫	内科学 (腫瘍科)
Drug Metab Dispos. 平成21年7月発表	Pharmacokinetics of 5-fluorouracil in elderly Japanese cancer patients treated with S-1 (a combination of tegafur and dihydropyrimidine dehydrogenase inhibitor 5-chloro-2,4-dihydroxypyridine).	長島 文夫	内科学 (腫瘍科)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Chemother Pharmacol. 平成21年12月発表	A phase II study of induction chemotherapy with gemcitabine plus S-1 followed by chemoradiotherapy for locally advanced	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
Lancet Oncol. 平成22年1月発表	Targeted therapy for biliary-tract cancer.	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
Jpn J Clin Oncol 平成22年2月発表	Phase II study of gemcitabine chemotherapy alone for locally advanced pancreatic carcinoma: JCOG0506.	古瀬 純司	内科学 (腫瘍科)
日本老年医学会雑誌 平成21年5月発表	アルツハイマー型認知症の意欲の低下に対するコリンエステラーゼ阻害薬の効果	鳥羽 研二	高齢医学
Geriatr Gerontol Int 平成21年9月発表	Evaluation of risk of falls in patients at a memory impairment outpatient clinic	神崎 恒一	高齢医学
JMAJ 平成21年7月発表	"Fall Risk Index" Helps Clinicians Identify High-risk Individuals	鳥羽 研二	高齢医学
日本老年医学会雑誌 平成21年11月発表	II型呼吸不全を契機に診断された運動ニューロン疾患を伴う前頭側頭型認知症 (frontotemporal dementia with motor neuron disease) の1例	神崎 恒一	高齢医学
Hepatogastroenterology 平成22年3月発表	Morphological criteria for metastatic mesorectal lymph nodes in rectal cancer.	松岡 弘芳	外科学
Hepatogastroenterology 平成22年3月発表	Impact of intra-operative radiotherapy on evacuatory function following ultra-low anterior resection. Result of prospective randomized trial.	松岡 弘芳	外科学
Hepatogastroenterology 平成22年3月発表	Comparison of functional and clinical outcomes: colonic J-pouch vs. colectomy in patients with low rectal cancer.	松岡 弘芳	外科学
J Hepatobiliary Pancreat Surg 平成21年4月発表	Single-port endoscopic cholecystectomy: a bridge between laparoscopic and transluminal endoscopic surgery.	阿部 展次	外科学
Surg Endosc 平成21年8月発表	Endoscopic full-thickness resection with laparoscopic assistance as hybrid NOTES for gastric submucosal tumor.	阿部 展次	外科学
胸部外科 平成21年6月発表	剥離鉗子と鑷子を融合した新しい器具の開発と応用	田中 良太	外科学
映像情報 Medical 平成22年1月発表	胸部MRIによる肺野病変の質的診断	田中 良太	外科学
Breast 平成21年5月発表	Feasibility study on radiofrequency ablation followed by partial mastectomy for stage I breast cancer patients.	井本 滋	外科学
Breast Cancer Res Treat 平成22年1月発表	Phase III randomized adjuvant study of tamoxifen alone versus sequential (tamoxifen and anastrozole) in Japanese postmenopausal women with hormone-responsive breast cancer: N-SAS BC03 study.	井本 滋	外科学
乳癌の臨床 平成22年1月発表	術前化学療法後に頸髄転移から呼吸不全を認めた進行乳癌の1例.	伊東 大樹	外科学
Journal of Spine Research 平成22年1月発表	頸部脊髄症の病巣高位診断-神経学的所見と脊髄誘発電位所見から	里見 和彦	整形外科
Clinical Calcium 平成21年7月発表	骨折後の骨代謝マーカーの変化	市村 正一	整形外科
J Orthop Surg(Hong Kong) 平成21年4月発表	Continuous decompression using a cannulated ceramic pin for simple bone cysts.	森井 健司	整形外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本整形外科学会雑誌 平成22年1月発表	Post-operative deep infection in tumor endoprosthesis reconstruction around the knee	森井 健司	整形外科
Eur. J. Neurosci. 平成21年9月発表	Large-scale reorganization of corticofugal fibers after neonatal hemidecortication for functional restoration of forelimb movements.	高橋 雅人	整形外科
Curr Allergy Asthma Rep 平成21年1月発表	Fixed drug eruption: a prototypic disorder mediated by effector memory	水川 良子	皮膚科学
Autoimmun Rev 平成21年3月発表	Viral connection between drug rashes and autoimmune diseases: how autoimmune responses are generated after resolution of drug rashes.	塩原 哲夫	皮膚科学
Eur J Dermatol 平成21年7月発表	Herpes virus-associated erythema multiforme following valacyclovir and systemic corticosteroid treatment.	塩原 哲夫	皮膚科学
Immunol Allergy Clin North Am 平成21年8月発表	The variable clinical picture of drug-induced hypersensitivity syndrome (DIHS)/drug rash with eosinophilia and systemic symptoms (DRESS) in relation to the eliciting drug.	狩野 葉子	皮膚科学
Curr Opin Allergy Clin Immunol 平成21年8月発表	Fixed drug eruption: pathogenesis and diagnostic tests	塩原 哲夫	皮膚科学
JMAJ 平成21年9月発表	Current concepts on the diagnosis and pathogenesis of drug-induced hypersensitivity syndrome.	塩原 哲夫	皮膚科学
Arch Dermatol 平成21年9月発表	Cytomegalovirus disease during severe drug eruptions: report of 2 cases and retrospective study of 18 patients with drug-induced hypersensitivity syndrome.	塩原 哲夫	皮膚科学
日皮会誌 平成21年10月発表	Stevens-Johnson症候群および中毒性表皮壊死症(TEN)の治療指針 平成20年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)重症多形渗出性紅斑に関する調査研究班による治療指針2009の解説	塩原 哲夫	皮膚科学
日皮会誌 平成21年12月発表	重症薬疹ガイドライン 薬疹の診療への提言	塩原 哲夫	皮膚科学
Ann Plast Surg 平成22年3月発表	Alteration of arterial blood flow after free muscle transfer and its determinants	栗田 昌和	形成外科
Neurourology and Urodynamics 平成21年6月発表	T- and L-type calcium channels mediate alpha 1-adrenoceptor-evoked contraction in the guinea-pig vas deferens.	宍戸 俊英	泌尿器科学
Cancer Immunol Immunother 平成21年7月発表	Intratumoral interferon-alpha gene transfer enhances tumor immunity after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	原 秀彦	泌尿器科学
Int J Urol 平成21年4月発表	Comparison of serum HER2/neu with immunohistochemical HER2/neu expression for the prediction of biochemical progression in metastatic prostatic cancer.	多武保 光宏	泌尿器科学
Int J Urol 平成22年2月発表	Immunomagnetic quantification of circulating tumor cells in patients with urothelial cancer.	桶川 隆嗣	泌尿器科学
Jpn J Ophthalmol 平成21年5月発表	Expression of inhibin alpha by stromal cells of retinal angioma excised from a patient with von Hippel-Lindau disease.	岡田 アナベル あやめ	眼科学
Br J Ophthalmol 平成22年4月発表	Twenty-three Gauge Cannula System with Microvitreoretinal Blade Trocar.	井上 真	眼科学
Acta Ophthalmol 平成21年10月発表	Histopathological examination of internal limiting membrane surface after scraping with diamond-dusted membrane scraper.	平形 明人	眼科学
Arch Ophthalmol 平成21年4月発表	Inhibition of Posterior Capsule Opacification by a Capsular Adhesion-Preventing Ring.	永本 敏之	眼科学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ocul Immunol Inflamm 平成21年5-6月発表	International criteria for the diagnosis of ocular sarcoidosis: results of the first international workshop on ocular sarcoidosis (IWOS).	岡田 アナベル あやめ	眼科学
Ophthalmology 平成22年3月発表	Frequency of distinguishing clinical features in Vogt-Koyanagi-Harada disease	岡田 アナベル あやめ	眼科学
Journal of Medical Case Reports 平成22年1月発表	Perforating Eyelid Injury that Extended to Brain Stem.	井上 真	眼科学
J Cataract Ref Surg 平成21年7月発表	Wavy horizontal artifacts caused by multifocal diffractive intraocular lenses in optical coherence tomography line scanning images.	井上 真	眼科学
Ophthalmologica 平成21年2月発表	Mechanism of Patients' Visual Sensations Experienced during Pars Plana Vitrectomy under Retrobulbar Anesthesia.	井上 真	眼科学
Can J Ophthalmol 平成21年6月発表	Dehiscence of Levator Aponeurosis in Ptosis after Subtenon Injection of Triamcinolone Acetonide.	井上 真	眼科学
Hum Immunol 平成22年2月発表	Killer cell immunoglobulin-like receptor gene-cluster 3DS1-2DL5-2DS1-2DS5 predisposes susceptibility to Vogt-Koyanagi-Harada disease in Japanese individuals.	岡田 アナベル あやめ	眼科学
Clin Exp Ophthalmol 平成21年8月発表	Frequency and clinical features of intraocular inflammation in Tokyo.	慶野 博	眼科学
Jpn J Ophthalmol 平成21年3月発表	Recurrence of acute anterior inflammation after intravitreal injection of bevacizumab in uveitis.	岡田 アナベル あやめ	眼科学
Invest Ophthalmol Vis Sci 平成21年5月発表	High mobility group box 1 (HMGB-1) in experimental autoimmune uveoretinitis.	渡邊 交世	眼科学
American Journal of Nephrology 平成21年6月発表	Gunter Wolf. Angiotensin II upregulates RAGE expression on podocytes: Role of AT2 receptors.	田中 伸茂	眼科学
Cancer Letters 276:95-101 平成21年4月発表	System L amino acid transporter inhibitor enhances anti-tumor activity of cisplatin in a head and neck squamous cell carcinoma cell	山内 宏一	耳鼻咽喉科学
Oncol Rep 22(5):1163-7 平成21年11月発表	Concurrent chemoradiotherapy for organ function preservation in advanced patients with hypopharyngeal and laryngeal cancer.	小柏 靖直	耳鼻咽喉科学
Cancer Sci (2010 Feb 22) 平成22年2月発表	Docetaxel suppresses invasiveness of head and neck cancer cells in vitro.	小柏 靖直	耳鼻咽喉科学
Neuroradiol 平成21年2月発表	CT angiography covering both cervical and cerebral arteries using contrast material with a reduced dose and higher concentration on a 16-detector row system.	土屋 一洋	放射線医学
Neuroradiol 平成21年4月発表	CT angiography covering both cervical and cerebral arteries on a 16-detector row system.	今井 昌康	放射線医学
麻酔 平成21年12月発表	急激な経過をたどったセロトニン症候群の1症例	玉田 尚	麻酔科学
Inflammation Research 平成21年12月発表	Receptor mediation and nociceptin inhibition of bradykinin-induced plasma extravasation in the knee joint of the rat.	森山 久美	麻酔科学
Transfusion 平成21年12月発表	Effect of fresh frozen plasma from male-only donors versus mixed donors on postoperative respiratory function in surgical patients	飯島 毅彦	麻酔科学
Keystone Symposia "Mitochondrial dynamics and Physiology"	Calcium loading capacity and morphological changes in mitochondria in an ischemic preconditioned model	飯島 毅彦	麻酔科学

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Anesthesia 平成21年11月発表	Complexity of blood volume control system and its implications to perioperative fluid management	飯島 毅彦	麻酔科学
Microbiology and Immunology 平成21年11月発表	Protective effects of affinity-purified antibody and truncated vaccines against Pseudomonas aeruginosa V-antigen in neutropenic mice.	森山 久美	麻酔科学
蘇生 平成21年8月発表	ミトコンドリア膜電位による細胞内カルシウム緩衝作用の調節と神経細胞死	飯島 毅彦	麻酔科学
Annals of Internal Medicine 平成21年4月発表	Isolation of Mycobacterium kyorinense in a patient with respiratory failure.	渡邊 卓	臨床検査医学
Journal of Clinical Ultrasound 平成21年5月発表	Unusual sonographic appearance of synovial sarcoma arising from the anterior wall.	岸野 智則	臨床検査医学
British Journal of Haematology 平成21年6月発表	A novel JAK2 splicing mutation in neonatal myeloproliferative disorder accompanying congenital anomalies	大西 宏明	臨床検査医学
Biological & Pharmaceutical Bulletin 平成21年6月発表	Pax6-5a promotes neuronal differentiation of murine embryonic stem cells.	渡邊 卓	臨床検査医学
International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology 平成21年6月発表	Mycobacterium kyorinense sp. nov., a novel slowly growing Mycobacterium sp. related to Mycobacterium celatum isolated from human clinical specimens.	渡邊 卓	臨床検査医学
Annals of Internal Medicine 平成21年8月発表	A novel maneuver to prevent median nerve injury in phlebotomy.	大西 宏明	臨床検査医学
Transfusion 平成21年11月発表	Impact of fresh frozen plasma from male-only donors versus mixed gender donors on postoperative respiratory function in surgical patients: a prospective case-controlled study.	大西 宏明	臨床検査医学
Austral-Asian Journal of Cancer 平成22年2月発表	Abnormalities of Epidermal Growth Factor Receptor in Lung Squamous Cell Carcinomas, Adenosquamous Carcinomas and Large Cell Carcinomas: Tyrosine Kinase Domain Mutations are not Rare in Tumors with an Adenocarcinoma Component.	大塚 弘毅	臨床検査医学
看護技術 平成21年12月発表	脳卒中にみられる生涯の特徴—排尿障害	高橋 秀寿	リハビリテーション医学
日本医師会雑誌 平成21年7月発表	脳卒中機能評価-FIM,SIAS-	高橋 秀寿	リハビリテーション医学
日本脊髄障害医学会誌 平成21年1月発表	神経芽細胞腫により対麻痺を来した小児のリハビリテーション	高橋 秀寿	リハビリテーション医学
臨床理学療法研究 平成21年7月発表	入院期高齢心疾患患者の運動療法におけるバランストレーニングの効果について	木村 雅彦	リハビリテーション医学
臨床理学療法研究 平成21年7月発表	立位姿勢の違いが呼吸筋活動、胸郭運動および呼吸機能に及ぼす影響—胸郭と骨盤の位置関係に着目して	木村 雅彦	リハビリテーション医学
心臓リハビリテーション 平成21年8月発表	筋力ならびにバランス機能のエクササイズを主体とした心臓リハビリテーションにより運動耐容能の向上が得られた重症心不全の一症例	木村 雅彦	リハビリテーション医学
理学療法 平成21年2月発表	急性心筋梗塞第Ⅲ相(維持期)の理学療法	木村 雅彦	リハビリテーション医学
Disability Rehabilitation 平成21年4月発表	Development of a screening tool to identify quasi-in-need-of-care state(QUINOCs)in the community based on the short version of Function Independence Measure(FIM)TR	山田 深	リハビリテーション医学

計 119

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 甲能 直幸
管理担当者氏名	医療安全管理室長 高橋 信一 看護部長 道又 元裕、事務部長 中野 利晴 副部長 高戸谷 繁通、野尻 一之、山崎 昭、庶務課長 小林 きよ子、 医事課長 野尻 一之(兼務)、高戸谷 繁通(兼務)、薬剤部長 永井 茂 診療情報管理室長 奴田原 紀久雄、検査部長 渡邊 卓、放射線部長 似鳥 俊明 検査部技師長 大藤 弥穂、放射線技師長 大戸 真喜男、 医学部事務部 副部長 内藤 俊朗

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院 期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		関係各部署	入院、外来等については、 一患者一ファイル方式とし、 管理している	
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳簿	人 事 課		
	高度の医療の提供の実績	医 事 課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医 学 部		
	高度の医療の研修の実績	各 診 療 科		
	閲覧実績	庶 務 課		
	紹介患者に対する医療の提供の実績	地域医療連携室		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	庶 務 課 薬 剤 部		
	第一 条に 掲げ る体 制の 確保 の状 況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医療安全管理室
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療安全管理室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全管理室
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室			

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全管理室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理室
		感染症の発症状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理室
		医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	薬 剤 部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬 剤 部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬 剤 部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬 剤 部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	病 院 管 理 部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨 床 工 学 室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨 床 工 学 室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨 床 工 学 室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 甲能直幸
閲覧担当者氏名	医療安全管理室長 高橋 信一 看護部長 道又 元裕、事務部長 中野 利晴 副部長 高戸谷 繁通、野尻 一之、山崎 昭、庶務課長 小林 きよ子、 医事課長 野尻 一之(兼務)、高戸谷 繁通(兼務)、薬剤部長 永井 茂 診療情報管理室長 奴田原 紀久雄、検査部長 渡邊 卓、放射線部長 似鳥 俊明 検査部技師長 大藤 弥穂、放射線技師長 大戸 真喜男、 医学部事務部 副部長 内藤 俊朗
閲覧の求めに応じる場所	事務部 応接室、病院庶務課 事務室 他

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	2 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 1 件

○紹介患者に対する

紹介率	52.5%	算定期間	平成21年 4月 1日～平成22年 3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数	20,215 人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,207 人	
	C : 救急用自動車	7,335 人	
	D : 初診の患者の数	61,764 人	

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<p>・指針の主な内容： 医療安全管理の基本的考え方。リスクマネジメント委員会、医療安全管理室の主な役割、医療安全管理のための職員研修実施の基本方針。事故発生後の対応方針。</p> <p>医療従事者と患者及びその家族等との情報共有の基本方針、他。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
<p>・活動の主な内容： インシデント事例等の原因分析、改善策立案及び職員への周知。リスクマネジメント委員会で立案した改善策の実施状況調査と見直し。職員研修の企画・実施。</p> <p>(平成 21 年度活動例) ; 呼吸に関する医療看護行為後の安全チェックシートの改訂、静脈ラインへの誤注入防止のための取り決め、内視鏡下生検マニュアル作成、術前休業期間の目安の改訂、患者等の容態急変・急病時の対応マニュアル改訂 入院患者の採血・血圧測定ができない四肢の表示ルール (ネームバンドの運用) の改訂</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 14回
<p>・研修の主な内容： 医療安全管理に関する基本的な考え方と具体的方策及び職員の責務、当院及び他の医療機関で発生した事例の原因と改善策等</p> <p>(平成 21 年度実施例) ; 医療安全の基本、医薬品の安全使用のための研修、医療機器安全管理のために、臨床における倫理について、手術室における体内遺残防止について、CVC 挿入・管理の体制について</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容： 専任リスクマネージャーの職場巡視による改善策の実施状況の確認及び再評価、リスクマネージャーの事例検討による改善策の立案、インシデントレポートの検討・改善策の立案、院内広報誌での改善策の周知徹底、e-ラーニングによる理解度の確認及び評価、医療安全情報 (医療機能評価機構) 等の伝達、学内 LAN への重要な決定事項の掲載、他。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (1名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
<p>・所属職員： 専任 (8) 名 兼任 (27) 名</p> <p>・活動の主な内容： リスクマネジメント委員会で用いられる資料、議事録の作成・保存及び委員会の庶務。事故等に関する診療録・看護記録等の記載内容確認及び指導。事故発生時の患者等への対応状況の確認及び指導。事故等の原因究明の適切な実施の確認及び指導。医療安全に関する連絡・調整、他。</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>院内感染防止対策に関する基本的考え方。院内感染防止委員会・ICTの役割。 院内感染防止対策のための職員研修実施の基本方針。院内感染発生時の報告と対策に 対する基本方針。指針改定及び閲覧に関する基本方針。他</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>院内の感染症発生状況の把握、感染対策の企画・立案及び職員への周知、院内感染防 止委員会・ICTで立案した感染防止策の実施状況調査と見直し。 職員研修の企画実施。 (平成 21 年度活動例) 人工呼吸関連肺炎 (VAP) サーベイランス企画・実施、 ワクチン接種計画の立案・実施、ラビング法の導入、他</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>院内感染防止に関する基本的な考え方。感染症発生時の対応方法。当院及び他の医療 機関で発生した事例の原因と改善策。 (平成 21 年実施例) 新型インフルエンザの現状と対策、抗菌薬の適正使用、冬期に流行する感染症 針刺し等血液暴露の発生状況、他</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>ICTの病棟巡視による改善策の実施状況の確認及び再評価、院内広報誌での改善策 の周知徹底、e-ラーニングによる理解度の確認及び評価、学内LANへの重要な決定 事項の掲載、インフェクションコントロールマネージャー (各部署の院内感染担当者) を通じた決定事項の伝達と評価</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	①・無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器の説明及び、使用方法について (特定医療機器に関して年2回以上の計画をたてそれに沿って行っている)(特定医療機器：人工呼吸器・血液浄化器・除細動器・閉鎖式保育器 など)	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (有・無)・ 保守点検の主な内容： 機器毎の保守点検マニュアルに沿って、日常点検及び定期点検	
④ 医療機器の安全使用のための必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (④・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 添付文書・取扱説明書等は、臨床工学室で担当者を決めて保管・管理を行う・ 安全性情報等は臨床工学室で情報収集し、医療安全管理室と連携する。・ 医療機器の不具合情報を入手した場合は速やかに関連部署に連絡し医療機器安全管理責任者・医療機器管理委員長・医療安全管理室に連絡し必要な対応を行う	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ リスクマネジメント講習会でインシデント事例の報告・ インスリン注射薬の選択・薬剤の管理と投与方法について・ 看護師による静脈注射が可能な薬剤の注意点について・ リスクマネジメント講習会で化学療法レジメンシステムの推奨について・ 処方せんの記載法について	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有・無)・ 業務の主な内容：<p>手順書の設置と手順書に基づく実施状況は、部署別リスクマネージャーによる実施確認書の提出で確認している。</p>	
④ 医薬品の安全使用のための必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ フェノバル注の投与方法の注意喚起（他院でおきたフェノバルの静脈注射による患者の死亡事例に対応）・ 特に安全管理が必要な注射薬の表示方法の改善（指示した注射薬が「要注意薬」であることが一目で認識できるように、薬品名の前に〔要〕と表示した）・ 「休薬期間が必要な内服薬」の誤入力防止のためオーダ画面の表示を改善した。	